

PCのデータレス化により、持ち出し  
PCのセキュリティ対策を実現します。

<ROM化クライアントT4の紹介>

ROM化クライアントT4

2021年12月14日

株式会社ロムウィン

## PCの社外への持ち出し利用について



働き方改革の取り組みや、新型コロナウイルスによる在宅勤務への移行により、自宅からのオンライン会議への参加など、PCの社外への持ち出し利用が必要となっています。

## 持ち出しPCのセキュリティ対策は？



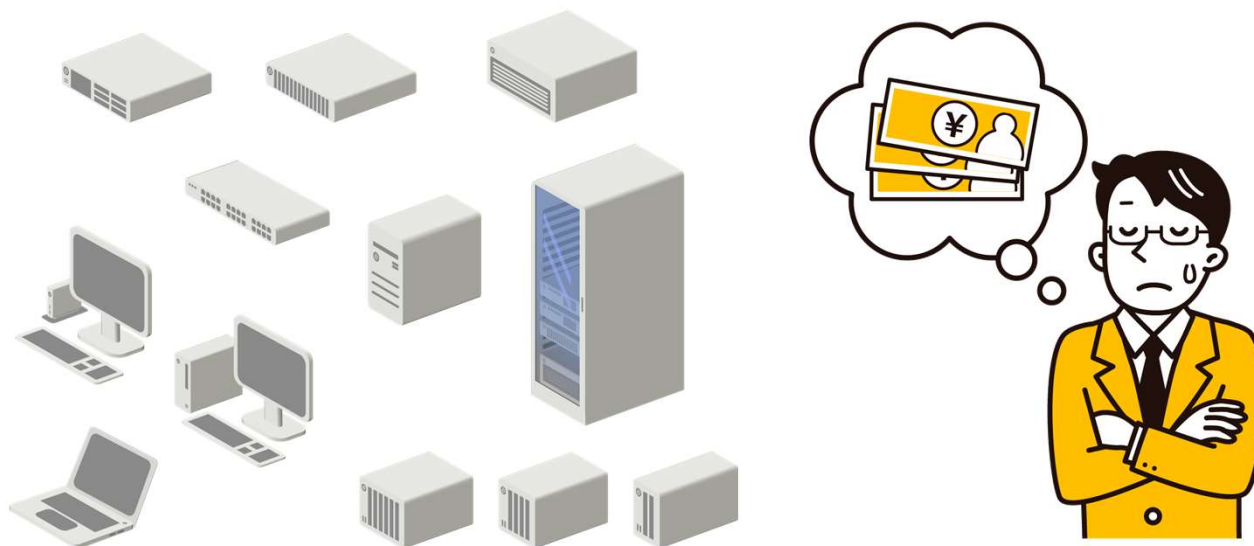
PCの社外への持ち出し時に、PCの紛失や盗難などによるデータの外部への情報漏えいを防ぐ為のセキュリティ対策が必須となります。

## 持ち出しPCの紛失や盗難による情報漏えい



顧客情報が流失すると、悪徳業者や詐欺グループに悪用されるおそれがあり、流出元となった企業のイメージは大きく低下し、損害賠償を請求される可能性もあります。  
会社の経営に関わる機密情報が外部に漏れれば、株価の下落、ブランド力の低下は免れられません。

## シンククライアントの導入は？



画面転送型でのシンククライアントの導入によるセキュリティ対策は、一台当たりのPCで、30万円から40万円とコスト的に高く、導入に至るまでの障壁も高くなります。

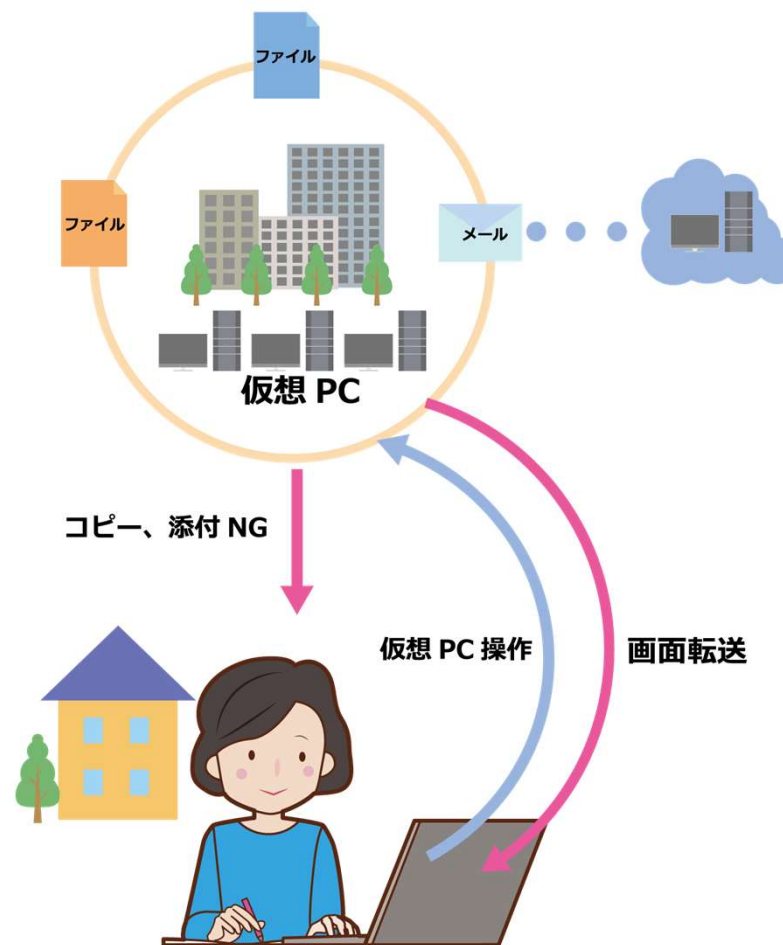
# シンククライアントの主な方式 (その1)

## 画面転送型

主な方式

- (1) サーバーベース方式
- (2) VDI方式(仮想デスクトップ)
- (3) ブレード方式

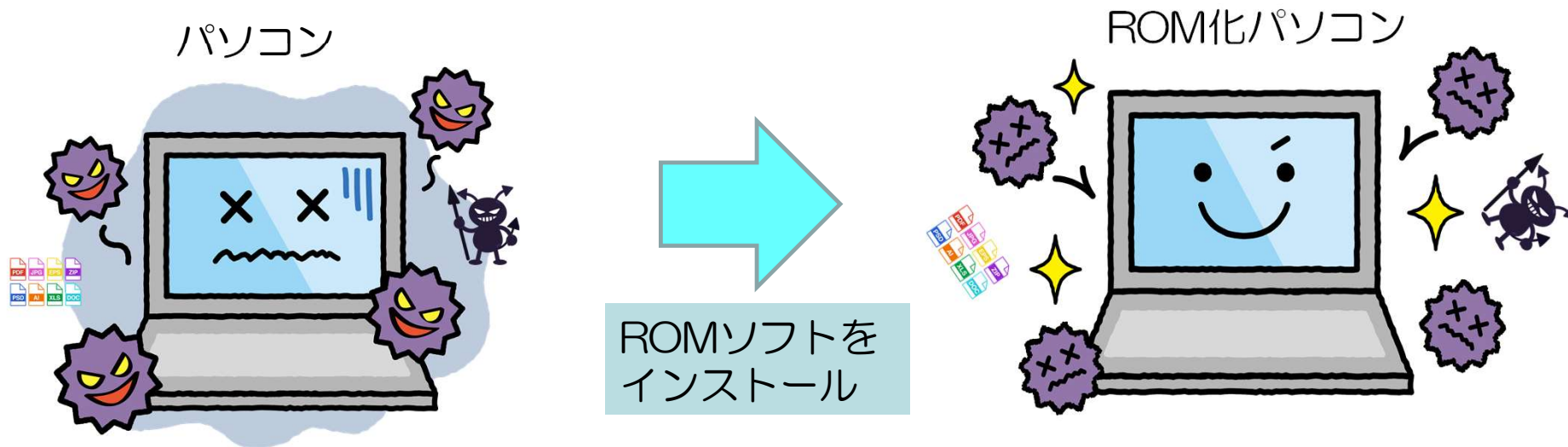
サーバー側の動作画面をクライアント端末へ転送。



# シンクライアントの主な方式 (その2)

## クライアント処理型

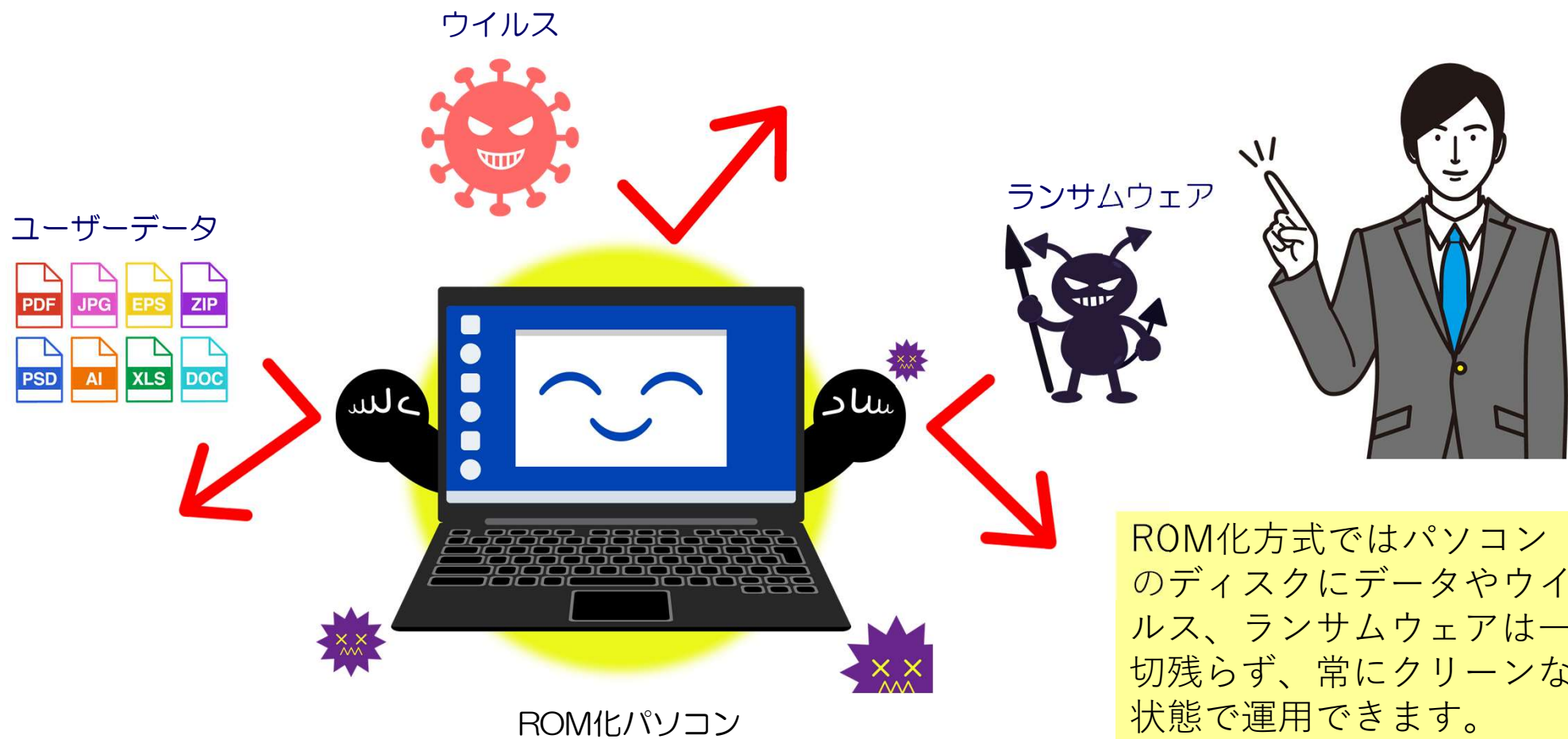
### (4)ROM化方式



パソコンの内蔵ディスクにはデータが残ります。  
ウイルスやランサムウェアに感染する場合があります。

ROM化HDD(SSD)からWindowsとアプリを起動します。  
パソコンの内蔵ディスクには、一切データは残りません。  
ウイルスやランサムウェアに感染する事も無く、常にクリーンな状態で動作します。

# ROM化方式のシンクライアントとは？



ROM化方式ではパソコンのディスクにデータやウイルス、ランサムウェアは一切残らず、常にクリーンな状態で運用できます。



# ROM化方式でPCをデータレス化してセキュリティ対策！

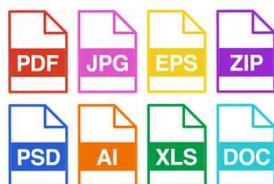
---



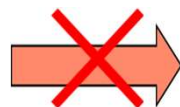
ROM化方式でPCをデータレス化することで、PC自体のセキュリティを確保しながら、従業員の皆様の働き方改革を実現する事が可能です。  
コスト的には、既存のPCに一台当たりプラス数千円から2万円ほどで導入が可能です。

# ROM化方式でHDD(SSD)は常にクリーンな状態！

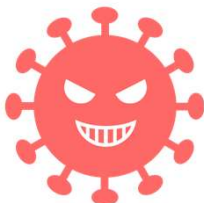
ユーザーデータ



書込不可



ウイルス



書込不可



ランサムウェア



書込不可

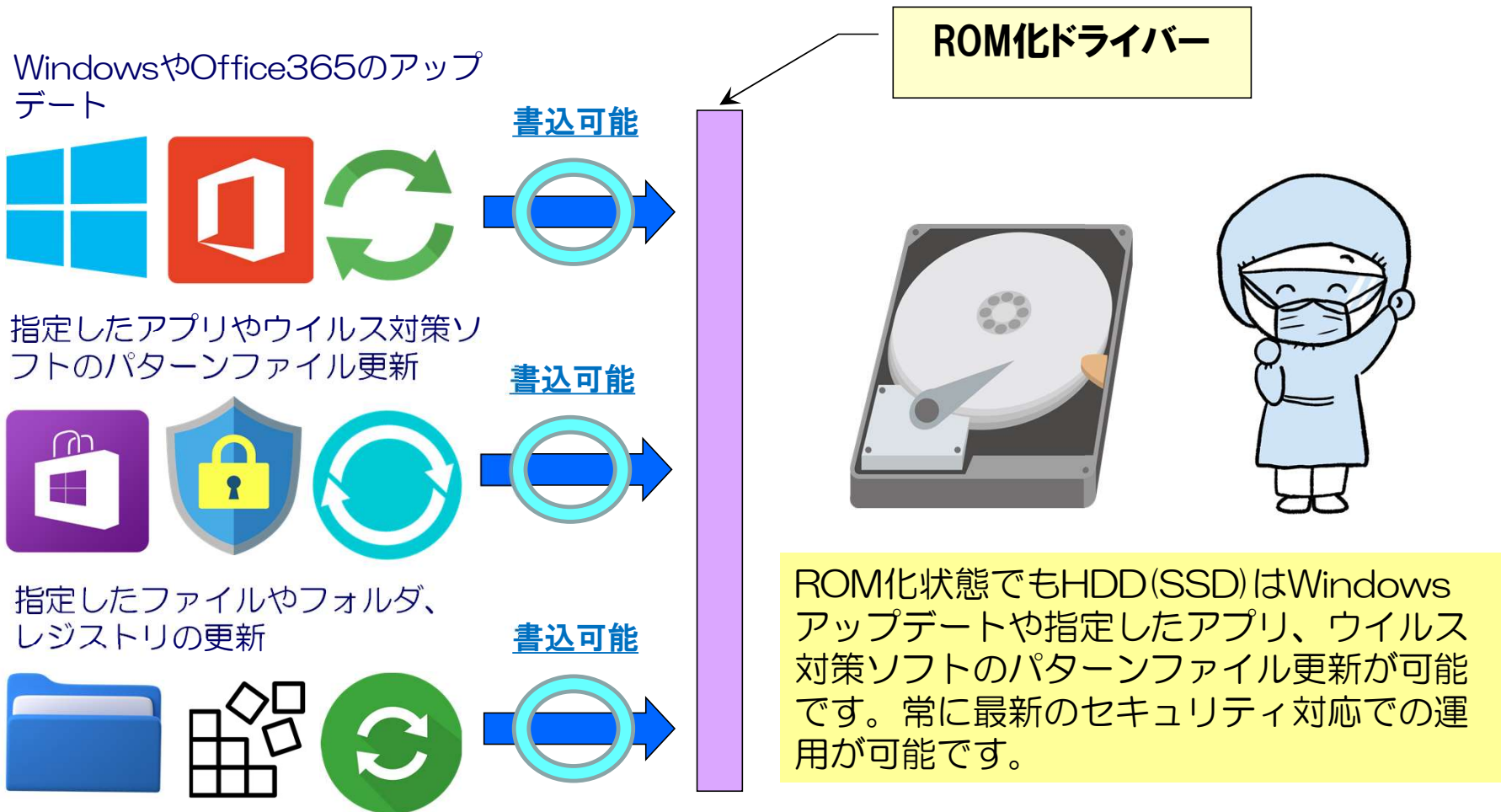


ROM化ドライバー



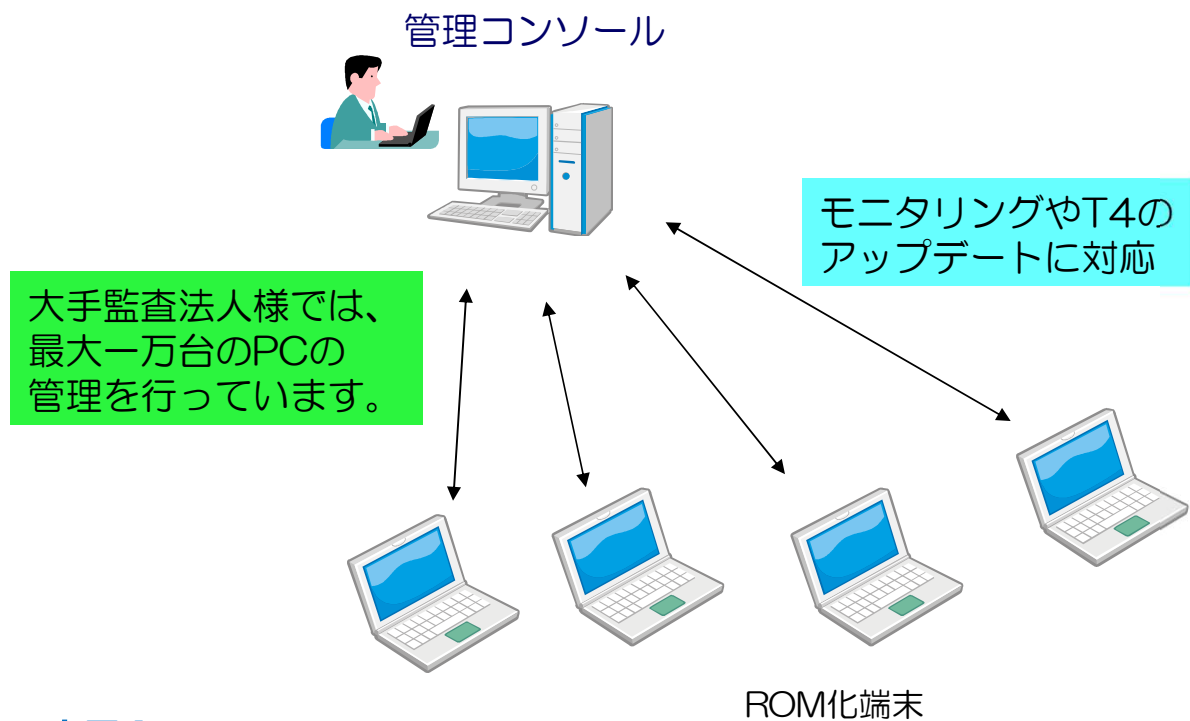
ROM化方式でHDD(SSD)は、ユーザーデータやウイルス、ランサムウェアの書き込みが不可です。常にクリーンな状態となります。

# ROM化状態でもWindowsアップデートなどが可能！



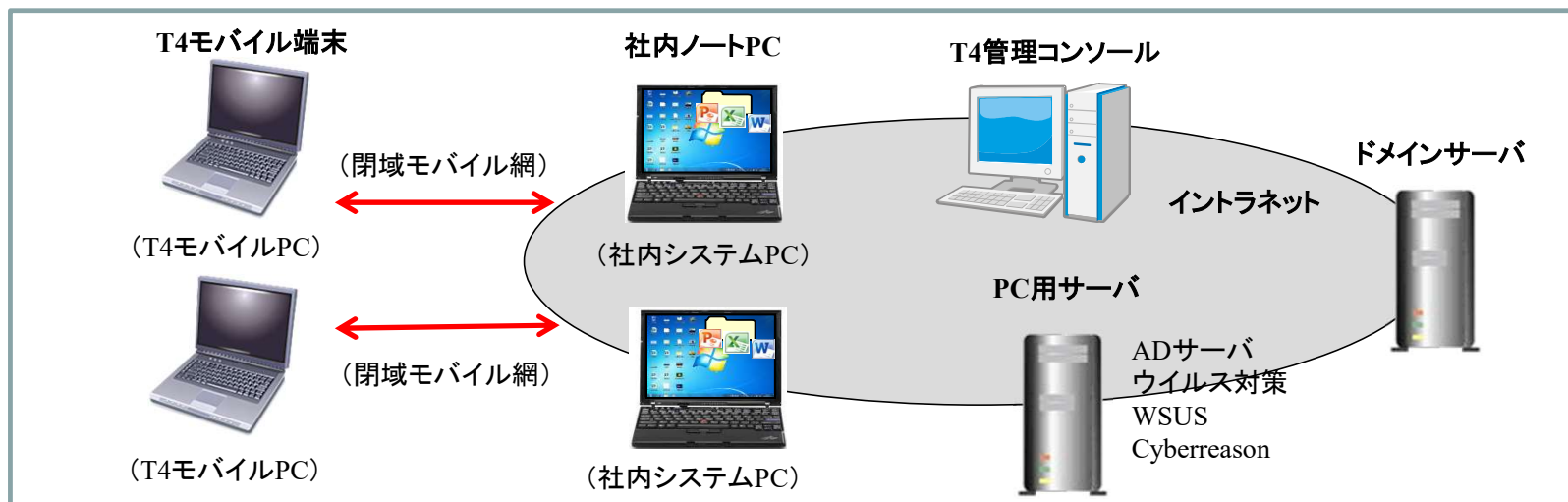
# T4 管理コンソールからのモニタリングやT4ソフトのアップデートに対応。

T4管理コンソールからROM化端末のT4クライアントソフトのアップデートやWindows10のメジャーアップデートが可能。メンテナンスなどの柔軟な対応が可能に。また、ROM化端末のモニタリングや、保存期限を設定してのデータ保存が可能！



## 大手旅行会社様のモバイル端末にROM化クライアントT4を導入(3000台)

モバイル用ノートPCをROM化状態にして、PCのデータレス化を実現。  
旅行予約用端末として社外利用でのセキュリティ対策を行い、ご利用いただいています。



### 構成:

- ・ ノートPC(Windows10 Pro 64bit,LTE対応)、Office365、ウイルス対策ソフト、情報セキュリティ対策ソフト(Cyberreason)

### 運用:

- ・ T4で社外モバイルPCをROM化状態にして、PCのデータレス化を実現。
- ・ 閉域モバイル網を利用して社内ネットワークへ接続し、ドメインユーザでログオンしてWebアプリを動かします。
- ・ ROM化状態でもWindowsアップデートやウイルス対策ソフトの定義ファイルのアップデートが可能。